

外国語教育系・外国語教育部門
2023 年度活動記録

■事業日誌

- (1) 3月24日 [初習] 第106回中国語検定試験
- (2) 3月30日 [初習] 初習言語履修相談会
- (3) 4月8日 [国際試験] TOEIC Listening and Reading Test
- (4) 5月16・17日 [初習] 実用フランス語技能試験（春季）対策リスニング模試
- (5) 6月1・8・15・22日 [公開講座] 各国シリーズ「世界の言語で文化と歴史を“読む・語る”」
- (6) 6月7日 [国際試験] 外国語教育系 FD ER in the Second Language Classroom
- (7) 6月26日 [国際試験] 外国語教育系 FD 「TOEIC スコアの社会での活用についての紹介」
- (8) 6月17日 [公開講座] 「養生・衛生書のあゆみ（2）中世篇」
- (9) 7月5日 [初習]（人社会学域共催）田野武夫（拓殖大学）：ドイツ企業への就職
- (10) 7月8日・9日 [初習] ドイツ語合宿（人社会学域共催）
- (11) 7月19日 [初習] 錦丘中学校のキャンパスツアー（ドイツ語・フランス語・朝鮮語・中国語の授業見学）
- (12) 7月31日・8月1日 [初習]（人社会学域共催）Joao Tenorio da Rocha Neto（レーゲンスブルク大学）：「ドイツ留学の勧め」「ドイツ語公開授業」
- (13) 9月12日 [国際試験] 外国語教育系 FD 前田広之「英語語彙問題作成セミナー TOEIC Part 5 で学ぶ問題 作成の視点と考え1」
- (14) 9月19日 [国際試験] 外国語教育系 FD 前田広之「英語語彙問題作成セミナー：TOEIC Part 5 で学ぶ問題 作成の視点と考え2」
- (15) 9月26日 [EAP/国際試験/初習] 国際基幹教育院 FD 新外国語カリキュラム教員研修会——ポスト SGU プログラムの外国語教育
- (16) 10月4日 [EAP/国際試験] 外国語教育系 FD 中山裕木子「生成 AI の登場に伴う技術英語スキルの育成」
- (17) 10月10日 [未環] ボキャブラリーコンテスト2023
- (18) 10月24日 [国際試験] *Skills For Academic English and TOEIC Success: Listening and Speaking*
- (19) 10月31日 [初習] 実用フランス語技能試験（秋季）対策リスニング模試
- (20) 12月3日 [初習] 冬季ドイツ語技能検定試験
- (21) 12月8日・15日・22日 [公開講座] 「中欧のクリスマス文化と大晦日の過ごし方」
- (22) 2月9日 [初習] 外国語教育系 FD 初習言語カリキュラム説明会
- (23) 2月16日 [EAP] 外国語教育系 FD EAP new curriculum from 2024
- (24) 3月6日 [KUL] [未環共催] 学生対象特別セミナー「『母語ではない』英語で学術論文を書くということ」
- (25) 3月13日 [未環] 未来創成教育環 FD シンポジウム「教育現場の AI 使用」
基調講演：Tom Gally（東京大学）、事例紹介：中澤嵩（学術メディア創成センター）、野村彰洋（融合学域）、八柳祐一（GS 教育系）、司会：山村公恵、趣旨説明・モデレーター：大藪加奈

[EAP] EAP 教育企画部 [国際試験] 国際試験教育企画部 [初習] 初習言語教育企画部
[未環] 未来創成教育環 [KUL] 金沢大学附属図書館ライティングセンター

■FD/SD 講演会

- (1) 6月7日 Extensive Reading in Second Language Learning: A Grounded Theory, by Dr. Gregory Hadley, Niigata University.

A guest lecture was conducted by Dr. Gregory Hadley, a professor of sociolinguistics and western cultural studies at Niigata University, Japan, and a visiting fellow at Kellogg College, University of Oxford. Dr. Hadley focused on Extensive Reading (ER), an approach to English language teaching that asks learners to read large amounts of material that are at their proficiency level and described key processes learners commonly bring to the ER classroom. (Mark Hammond)

- (2) 6月26日 「TOEIC スコアの社会での活用についての紹介」 浦西 義之、田口 陽平

日本の TOEIC プログラムを管理・運営する IIBC（国際ビジネスコミュニケーション協会）より浦西 義之氏、田口 陽平氏をお迎えし、「TOEIC スコアの社会での活用についての紹介」という演題で、TOEIC テストをめぐる最新動向および本学学生の TOEIC スコアの推移について説明をいただいた。（小熊猛）



- (3) 10月4日 「生成 AI の登場に伴う技術英語スキルの育成」 中山裕木子

FD イベントとして、中山裕木子氏（(株) ユー・イングリッシュ）に「生成 AI の登場に伴う技術英語スキルの育成」という演題でオンライン講演をいただいた。機械翻訳および ChatGPT の利点と欠点を知った使いこなし術、SNS、YouTube など身近なツールを用いた英語学習についてご紹介いただいた。（小熊猛）

- (4) 10月24日 Skills For Academic English and TOEIC Success
Presenter: Robert Peacock (Teacher Trainer, Oxford University Press)

In this workshop we discussed the new coursebook for Practical English, Skills For Success Listening and Speaking, and how the contents can be adapted to facilitate TOEIC preparation while teaching students practical English skills for general purposes. (Mark Hammond)

■ 全学 FD 研修会

- (1) 9月26日 外国語教育部門「新外国語カリキュラム教員研修会——ポスト SGU プログラムの外国語教育」(参加人数合計: 92 名 内訳 会場参加人数: 22 名 オンライン参加人数: 70 名)

2023 年度で終わりを迎える SGU プログラムにおける外国語教育の総括を行った上で、英語カリキュラムの改革点についての報告(小熊、趙)が行われるとともに、学術リテラシー関連についての報告(大藪、山村)も行われた。本 FD の最後には Q&A セッションが設けられ、今後の外国語教育についての意見が交換された。オンラインの参加者も 70 名参加した。(森川智成)



- (2) 3月13日 未来創成教育環シンポジウム「教育現場の AI 使用」トム・ガリー、中澤嵩、野村彰浩、八柳祐一 (参加人数合計: 118 名 内訳 会場参加人数: 30 名 オンライン参加人数: 88 名)

昨今の生成 AI や機械翻訳の普及に伴い、学生や教員が教育・学術目的でどのように AI を利用しているのか、またその使用が教育にどのような意義や影響をもたらすかをテーマとしたシンポジウムを未来創成教育環主催で開催した。シンポジウムではトム・ガリー先生(東京大学グローバル教育センター特任教授・東京大学名誉教授)による基調講演「生成 AI・機械翻訳で教育はどうか変わるか—学術リテラシーの視点から—」、学内 3 教員(学術メディア創成センター中澤嵩准教授、融合学域野村彰浩准教授、国際基幹教育院八柳祐一教授)による事例紹介(データサイエンス教育、医療教育、学生の AI 使用)、そしてパネルディスカッションが行われた。基調講演および事例紹介のいずれにおいても生成 AI の教育的・学術的な目的での使用について最新の情報が発表された。AI の進歩のスピードの速さと利便性の高さに驚くとともに、教育目的と意義の設定の重要性を改めて認識させられる機会となった。対面に加えてオンラインでも参加可能としたことから、学内だけでなく全国の教育機関の教職員から反響があり、事前のオンライン視聴登録者数は 121 名であった。また学内外から資料配布や録画配信の要望などの反響があり、シンポジウム終了後に期間限定で録画配信も行った。(山村公恵)

未来創成教育環シンポジウム
教育現場の AI 使用
開催日時: 令和6年3月13日(水)15:00~17:00
開催場所: 総合教育棟 A1講義室
オンライン参加可
申し込み: <https://forms.gle/KMX8P48Yb1N8My5A>

15:00 開会挨拶
15:05 趣意説明
15:10 基調講演:
生成 AI・機械翻訳で大学教育はどうか変わるか
——学術リテラシーの視点から——
トム・ガリー (東京大学 名誉教授・グローバル教育センター特任教授)

15:50 Q&A
16:00 事例紹介: データサイエンス教育
中澤嵩 (学術メディア創成センター准教授)
16:15 事例紹介: 医療教育
野村彰浩 (融合学域准教授)
16:30 事例紹介: 学生の AI 活用
八柳祐一 (国際基幹教育院教授)
16:45 ディスカッション & 閉会の挨拶

主催: 金沢大学未来創成教育環
共催: 国際基幹教育院、総合教育棟、教務・データサイエンス・AI教育センター



未来創成教育環シンポジウム「教育現場の AI 使用」

■FD 研究会

- (1) 9月12日・19日 「英語語彙問題作成セミナー：TOEIC Part 5 で学ぶ問題作成の視点と考え方——実践編」前田広之

昨年度に引き続き、TOEIC Part 5 を題材として語彙問題作成セミナーを実施した。9月12日の第1回では良問・悪問を見分ける視点、Part 5 語彙問題における問題文と選択肢の特徴について解説があった。1週間後の第2回では、その間に参加者から提出された問題作成の課題について1件ずつ講評が行われた。丁寧な講評により、各参加者の語彙問題に対する理解がより深まったものと思われる。講師からは「昨年度より出来がずっとよかった」とのコメントがあった。Practical English の授業内課題やボキャブラリーコンテスト等、多肢選択語彙問題を作成する機会が多くなる中、このような機会を引き続き設けていきたいと考えている。
(西嶋愉一)

103. -----, Ben's Grill is planning to make a couple of changes over the next few months.
(A) At the same time
(B) As of May 7
(C) Additionally
(D) And

問題文の内容が薄すぎる。
語彙問題？接続副詞？
選択肢にMay 7は変。
全選択肢が同じ字で始まるのは超レア

- (2) 2月16日 「英語語彙問題作成セミナー：TOEIC Part 5 で学ぶ問題作成の視点と考え方——実践編」オンライン掲示資料
EAP 教育企画部「EAP new curriculum from 2024」(対面参加人数：15名)

EAP は金沢大学学術リテラシー教育の一環として、英語によるライティングやプレゼンテーションを指導する授業であるが、近年の技術革新や社会的ニーズの変化に応えるべく、2024年度より新規カリキュラムをスタートさせることとなった。本FD研究会は、各クォーターのテーマ・教育プランの詳細に関して理解を深めていただく機会として設定され、課題の内容刷新やその比重の見直しについても説明を行った。また、新たに導入する語彙テストやクリティカルシンキングクイズについても情報共有することができた。当日参加できなかった教員のために、録画しリンクを配布した。(西村周浩)

- (3) 3月6日 金沢大学附属図書館ライティングセンター主催「LiLA 対象チュータリング研修」片山晶子 (オンライン参加人数：9名)

3月6日同日に開催された学生対象の特別セミナー終了後、附属図書館ライティングセンターおよびラーニングサポートに勤務する Library Learning Advisor (LiLA)を対象としてチュータリング研修を開催した。講師は特別セミナーと同じ片山晶子先生である。オンラインではあったが、Zoom 会議室のブレイクアウトルームを活用し、ペアに分かれてチュータリング(個別相談)の模擬セッションを行った。ライティングセンターの基本的なコンセプトから、個別相談における LiLA (チューター)の実践的スキルまでをカバーする充実した研修であった。
(山村公恵)

■教育改革関係

● GS 言語科目改革

2022 年度設置した英語将来構想 WG（メンバー：部門長、国際試験教育企画部長、EAP 教育企画部長）が英語科目の抱える課題の洗い出しを行い、2024 年度開講予定の新カリキュラムの方向性を提示した。「TOEIC 準備コース」については、ビジネス・経営分野への偏重、客観試験が成績全体の 80%を占めることに起因する授業そのものへのインセンティブ低下への対策が必要であると指摘された。「EAP コース」については、Chat GPT をはじめとする生成 AI 等の実用化・登場を踏まえ、「宿題」として提出される課題レポート等の出来映えそのものを学生自身の（学術）英語力の現れとして評価する成績評価システムの見直しが急務であるとされた。また、「TOEIC 準備コース」がリスニング及びリスニングのスキル育成を主眼とし、「EAP コース」がアカデミックなコンテクスにおけるエッセー・ライティング、プレゼンテーションスキル育成に注力するなか、基本的な文レベルでの英文構成力など基礎的英文産出能力を定着させる取り組みを再点検する必要があることも示唆された。なお、(1)「英語で教授する」、(2)「共通シラバス・共通教材（共通教科書）・共通試験・評価」、(3) 外部客観試験スコアを用いた学生の英語力の悉皆経年把握、(4) 教育企画部による統一コース管理という特徴を継承しつつ、より確かな英語読解力、英語による発信力、汎用的知的コミュニケーション、事象を批判的に捉え、本質的課題を見出し、その解決を思考する姿勢を育成・涵養するプログラム開発が各教育企画部に指示された。

これらの方針に基づき、国際試験教育企画部と EAP 教育企画部は改革案をまとめ、科目開発およびシラバス・教材・教員マニュアルの全面的改訂を行った。

国際試験教育企画部は、従来「TOEIC 準備コース」で扱っていた TOEIC テスト対策の要素は残しつつ、より汎用的な実践英語を扱う「Practical English」という新コースを開発し、教科書も TOEIC 対策に特化したものからより汎用的でクリティカル・シンキングの要素を入れた新しいものへと変更し、客観試験の最終成績に占める比率を 70%にするなど成績評価基準も変更した。

EAP 教育企画部は、生成 AI や機械翻訳への対応を考慮し、従来の EAP コースの内容に加えて、自分以外が書いたテキストへの評価や、語彙テストやクリティカル・シンキングテストおよび自習教材を新たに導入し、主観的評価要素を排した客観的評価の要素が成績全体の 30%を占めるような成績評価制度を構築した。なお、1 年次学術リテラシー教育の基礎的科目と位置づけられる「アカデミックスキル」「プレゼン・ディベート論」と EAP コースの連携を強めるために、各クォーターの授業で扱う内容や順序を変更した。（小熊猛）

● 英語学術リテラシー科目の開発

全学的な学術リテラシー教育の推進のため、学術リテラシー教育企画部は 2 年次以上を対象とする英語学術リテラシー科目 5 コース 20 科目を開発し、令和 6 年度共通教育自由履修科目としてパイロット開講することにした。また、2022 年度に設置された学術リテラシー教育 WG（座長：系長/ 委員：全学類および基幹教育院選出）において、GS 言語科目 EAP コースと「アカデミックスキル」「プレゼン・ディベート論」の連携、および英語学術リテラシー科目の学域 GS 言語科目としての令和 7 年度開講を提案し、シラバスに記載する共通事項の決定や、規程改正や時間割作成などの開講準備を行った。

GS 言語科目のカリキュラム改革および英語学術リテラシー科目の開発については、上記 9 月 26 日開催の全学 FD 研修会「新外国語カリキュラム教員研修会—ポスト SGU プログラムの外国語教育」、2 月 16 日 EAP 教育企画部 FD 研修会「EAP new curriculum from 2024」、および全学教務委員会・教育企画会議等で説明した。（大藪加奈）

● 初習言語科目改革

学類との連携を強め、より統一的に初習言語科目を運営するために、系長を座長とする初習言語科目カリキュラム連絡会を設置した。基幹教育院長、外国語教育系長、部門

長、各言語科目コーディネータ、学類長、および学類委員で初習言語科目改革について検討し、統一教育目標や、統一開講時間帯、履修者数等にかかわる案を教育担当理事に報告した。(2回開催)

初習言語教育企画部では、趙菁教員、早川文人教員、佐藤朋子教員を構成員とする初習言語科目カリキュラム改革WGを設置し、新カリキュラム作成検討準備会議を2023年度において30回以上開催した。これまでの初習言語科目の開講形態を見直し、新たなカリキュラムを立案・構築した。なおこの新カリキュラムは2024年4月1日より実施する。

2023年9月26日に全学教員研修会にて本カリキュラムの骨子を説明した。また、初習言語カリキュラム連絡会にて新カリキュラムの進捗状況を5回報告した。なお、2023年8月6日に他学類に所属する初習言語科目担当者及び関係者と新カリキュラムに関する意見交換会を開催した。また、2024年度初習言語科目授業担当者全員を対象とした新カリキュラム説明会も2024年2月9日に開催した。

初習言語カリキュラムWGが新カリキュラムのポイントをまとめた冊子『共通教育初習言語カリキュラム要覧』を作成し、関係教員に配布した。(趙菁)

■学習支援事業

- 総合教育部関係

今年度は、外国語教育系より以下の教員が総合教育部の担任を担当した。

数見由紀子：総合教育部学務委員会委員（文系担任統括）

西嶋愉一：総合教育部学務委員会委員（理系担任統括）、プレゼン・ディベート論（理系）
コーディネーター

西村周浩：大学・社会生活論（文系）コーディネーター

- 金沢大学 ボキャブラリーコンテスト2023

2023年10月10日に、未来創成教育環学術スキル企画部主催、国際基幹教育院、付属図書館共催の英語ボキャブラリーコンテストが開催され、外国語教育系の家口美智子教員、西嶋愉一教員、山村公恵教員が運営委員を務めた。金沢大学の学生を対象としたボキャブラリー・コンテストのために、外国語教育系の英語教員によってTOEICで使用される語彙を意識した100の選択肢問題が作成された。コンテストには学生60名が参加し、11名が表彰された。(家口美智子)



- TOEIC 集中講座

夏季休業期間に、学類 1 年生を対象に TOEIC 集中講座を以下の通り実施した。
TOEIC 夏季集中講座 2023 年 9 月 6 日（水）模試会 （西嶋愉一）

- 金沢大学附属図書館ライティングセンター主催 未来創成教育環共催 学生対象特別セミナー『「母語ではない」英語で学術論文を書くということ』片山晶子 （オンライン参加人数：66 名）

3 月 6 日に附属図書館ライティングセンター主催、未来創成教育環共催で、初めて英語投稿論文を書く大学院生・研究者を対象として、英語論文セミナーをオンラインで開催した。東京大学の一年生の必修科目 ALESS ALESA という金沢大学の EAP のような、アカデミックライティングの授業を長年にわたり指導されるとともに、同大学の駒場ライターズスタジオ（ライティングセンター）のマネージャーを務めてこられた片山晶子先生を講師としてお迎えした。このセミナーは、担当講師が東京大学附属図書館をはじめ全国の大学図書館で講演している人気のセミナーであったことから、本校においても開催する運びとなった。セミナー当日は卒論を執筆予定の学類 4 年生から、修士課程、博士課程、教職員までの 66 名が参加した。論文の形式に留まらず、英語が母語ではない執筆者がどのように英語論文執筆に取り組むべきか心構えをわかりやすく伝える講演内容であった。また、初学者の簡単な演習問題を行ったり、受講者と対話をしたりとオンラインであることを感じさせないインタラクティブなスタイルで行われた。講演終了後の Q&A セッションにおいては学生を含む参加者から活発に質問が寄せられた。（山村公恵）

- ドイツ語留学支援活動（カフェ・クラッチ）

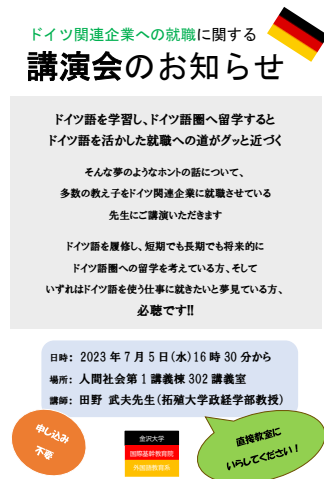
ドイツ語会話交流会「カフェ・クラッチ」を定期的で開催した。カフェ・クラッチは、留学支援活動として人文学類独語学独文コースとの共催で、ドイツ語圏から金沢大学に留学している学生と本学の留学希望の学生のために、毎週水曜日 3 限もしくは 4 限に開催している。外国語教育系からはクラチャンスカ教員が担当講師としてカフェ・クラッチの運営に協力した。ドイツ語圏への留学を希望する学生やドイツ語圏からの留学生と知り合う場として、本学の学生からは好評であり、今後もこの活動の支援を続けていきたい。（早川文人）

- ドイツ語留学支援活動（ドイツ語合宿）

ドイツ語圏への留学を希望する学生とドイツ語圏からの留学生の交流と学びの場として、国立能登青少年交流の家において、7 月 8 日、9 日に合宿を行った。外国語教育系からはクラチャンスカ教員が合宿中のドイツ語授業担当講師として参加した。（早川文人）

- ドイツ企業就職支援活動（招待講演）

7 月 5 日 16 時 30 分から人間社会講義棟で、人間社会学域との共催で、ドイツ企業への就職事情に精通されている田野武教授（拓殖大学）をお招きし、ドイツ企業への就職に関する講演会を実施した。会場では学生からの質問も多く、活発な議論が行われた。Zoom による参加者も含め、24 名の参加があった。このような就職支援イベントも今後も機会があれば続けていきたい。（早川文人）



- ドイツ語圏学習支援活動（招待講演）

8月1日に総合教育棟で14時からジュアン・ロシャ・ネット講師（レーゲンスブルク大学）をお招きし、海外でドイツ語を学ぶことの意義、レーゲンスブルク大学でドイツ語を学ぶ魅力について講演会を実施した。また翌8月2日には、同じく総合教育棟で公開ドイツ語学習講座を開催した。講演には、ドイツ語圏への短期研修の参加や留学を考えている学生が参加した。1日の参加者は11名、2日の参加者は16名だった。（早川文人）

- 短期海外研修【フランス文化研修】

8月31日から9月23日にかけての3週間、人間社会学域の科目「異文化体験実習Ⅰ（フランス）」および共通教育科目「異文化体験～現代ヨーロッパ文化研修～」の枠組みで海外体験実習が実施された。人文学域および人間社会環境研究科（2年生、4年生、博士課程1年生）から6名の受講者が、オルレアン大学フランス語学院が提供する50時間の授業に参加し、研修後にレポートを作成した。人間社会学域人文学類岩津航教授が事前授業と研修全般の運営を担当した。（佐藤朋子）

■検定試験関連事業

- TOEIC Listening and Reading Test

4月 TOEIC Listening and Reading Test は、4月8日に対面で実施した。総合教育部の1年生139名が受験した。

2月 TOEIC Listening and Reading Test は、2月14日、15日および予備日に対面で実施した。全学の1年生1,702名が受験した。なお予備日の受験者については、本試験当日に欠席した学生12名と、海外研修のために事前に申し出があった学生3名が対象者であり、その対象者15名のうち1人が欠席、14名が受験した。（西嶋愉一）

- 冬季ドイツ語技能検定試験

冬季ドイツ語技能検定試験は、2023年12月3日、本学角間キャンパス総合教育講義棟で開催された。試験実施日はかなりの悪天候であったため、欠席する受験者も少なからずいたが、試験は問題なく実施できた。なおこの冬季試験については、金沢大学角間キャンパス総合教育棟が北陸三県で唯一の実施会場であるため実施する意義は大きく、学内外の教員の協力を仰ぎながら今後も続けていきたい。

会場責任者：早川文人 試験監督者：Jana Klacanska、佐藤文彦（GS 教育系）、Timo Thelen（国際学類）。受験者数は以下の通り。（本学学生以外も含む。）

	1級	準1級	2級	3級	4級	5級	計
冬季	3	3	9	27	12	2	56

（早川文人）

- 実用フランス語技能検定試験、模擬試験（リスニング対策）

2023 年度、実用フランス語技能検定試験は例年通り 2 回開催された。春季は 2022 年 6 月 18 日（1 級、2 級、準 2 級の 1 次試験合格者を対象とする 2 次試験は 7 月 16 日）、秋季は 11 月 19 日（準 1 級、2 級、準 2 級の 1 次試験合格者を対象とする 2 次試験は 2024 年 1 月 21 日）に実施された。本学からは教員 1 名が 2 次試験の運営に協力した。試験にさきだち、学内でリスニングの模試を実施した。

本学からの実質受験者数と合格者数（括弧内）

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	計
春季	0	実施なし	2(1)	2(2)	6(2)	10(7)	1(1)	21(13)
秋季	実施なし	0	1(1)	3(0)	3(1)	19(16)	1(1)	27(19)

（佐藤朋子）

- 中国語検定試験

2023 年 3 月 26 日に第 108 回中国語技能検定試験が金沢大学総合教育棟で学外の受験者も受け入れて実施された。今回の実施は金沢大学が一般会場として運営した初回であった。受験者総数は 121 名でこの時期の受験者数としては他会場と比べて非常に多かったことが中国語検定協会より報告され、その意義の大きさが窺える。会場責任者は西村教員が務め、前日準備を含む当日までの実施にあたってはドイツ語検定の一般開放受験の知見を有する早川教員、他大学ではあるが中検の一般開放試験経験豊富な二ノ宮教員（北陸大学）の協力を得て円滑に運営が進められた。また人文学類加納教員、外国語教育系趙教員は当日の監督業務を行った。（趙菁）

■外国語教育系教員動向

科学研究費補助金

大藪加奈	基盤(C)代表	YAテキストにおける摂食障害の表象：フィクション・ノンフィクションと読者の関係	2022-2025	1,820	千円
數見由紀子	基盤(C)代表	「最小構造」を活用した英語構文の体系化と教授法の開発	2022-2024	390	千円
小熊猛	基盤(C)代表	発話参与者標示及び空間直示指示と概念化様式の英韓日対照研究	2022-2024	4,160	千円
佐藤朋子	基盤(C)代表	20世紀後半フランスのフロイト派における構造概念の用法と応用精神分析の展開の解明	2020-2023	4,420	千円
澤田茂保	基盤(C)代表	英語の話しことばにおける機能語類連鎖の働きに関する基盤的研究	2021-2023	1,040	千円
西村周浩	基盤(C)代表	ラテン語の語源研究：古代文化の営みから読み解く言葉の諸相	2020-2023	2,860	千円
橋本将	基盤(C)代表	名詞句の（連想）複数性の研究：統語と意味の観点から	2020-2024	910	千円
Mark Hammond	基盤(C)代表	Linguistic Register Analysis of Procedural Monologues in YouTube Videos	2023-2025	390	千円
早川文人	基盤(C)代表	ウィーン・ラジオ放送の文学番組とオーストリア・ファシズムの文化政策	2018-2023	3,510	千円
早川文人	基盤(C)代表	オーストリア・ファシズムにおける政治的群集祝祭劇とラジオ放送に関する研究	2023-2026	4,290	千円
平松潤奈	基盤(C)代表	検閲と自己懲罰：ロシア帝国とソ連における文学テキスト生産メカニズムの考察	2019-2023	2,080	千円
Dale Brown	基盤(C)代表	The development of productive knowledge of collocations and overall English proficiency	2021-2023	1,300	千円
家口美智子	基盤(C)代表	未来・認識を表す準助動詞の主語の通時的発達	2022-2024	1,560	千円
山村公恵	基盤(C)代表	「分散した」言語現象としての科学英語論文に備える執筆教育プログラム構築	2020-2023	1,690	千円
菅野磨美	若手研究	中世後期イングランドにおける地方での聖人崇敬に関する写本研究	2019-2024	4,290	千円

森川智成	若手研究	アメリカ国防総省によるミュージアムを介した文化政策の展開	2022-2024	2,340 千円
Jacob Runner	若手研究	Language Ideologies and Spiritual Identity: Comparative Perspectives from the Vercelli Book	2023-2025	1,170 千円
その他の競争的経費				
澤田茂保	経営改革促進事業	未来創成教育環における学士・大学院——貫英語学術リテラシー教育の開発と実施 (コーディネーター：大藪加奈)	2022-2023	630 千円

■教員の離着任

着任 Sreedevi Reddy (4月着任)

河田英介 (10月着任)

Malainine Ebnou (2月着任)

離任 平松潤奈 (9月離任)

西村周浩 (3月離任)

西村英希 (3月離任)

森川智成 (3月離任)

家口美智子 (3月離任)

Sreedevi Reddy (3月離任)

■社会貢献事業

- 金沢大学公開講座各国シリーズ「世界の言語で文化と歴史を“読む・語る”」

第1回（6月1日）「日英語を対照して見えてくる発想の違い」 小熊猫（外国語教育系）

第2回（6月8日）「あなたはHarry派？王室派？HarryとMeghanをめぐる視座と言説」

大藪加奈（外国語教育系）

第3回（6月15日）「アイスランド語に触れてみよう」 入江浩司（歴史言語文化学系）

第4回（6月22日）「漢詩”朗読”」 趙菁（外国語教育系）

今回の各国シリーズは英語、アイスランド語、中国語という受講者にとっては知っている言語もあれば、本講座で初めて触れる言語もあるなか、言語を通じた各国シリーズであった。各回の講師は講義形式と語学体験ワークショップなどの複数の授業形態を取り入れ、受講者に言語について多面的に考え、触れる機会を提供するように尽力した。例えば、最終回に箏による生伴奏のなか、慣れ親しんだ唐詩と日本漢詩を講師に倣って中国語で朗読することで会場を大いに盛り上げた。ほぼすべての受講者から「どの回も興味深いものばかりで、言語に共通するものを感じることができた。」「また参加したい」というような感想であった。受講者16名。
(趙菁)



- 金沢大学公開講座各国シリーズ「養生・衛生書のあゆみ（2）中世篇」

（上記の内容について6月17日1限目（上）、同日2限目（下）を開催）

講師：趙菁（外国語教育系）、瀧澤利行（茨城大学教育学部）、楊進（日本健康太極拳協会理事長）

令和4年度に開講し好評を得た「養生・衛生書のあゆみ（1）古代篇」につづき、令和5年度は養生・衛生書の歴史に関する講義に加え、太極拳の専門家による太極拳概論および養生体操の体験も設け、講義&実践「養生・衛生書のあゆみ（2）中世篇」を実施した。

高校生から70代までの一般市民30名が参加した。1限目前半に瀧澤先生が「養生・養生論の歴史」の講演を行い、中世期の養生が仏教や宋学の影響を受けながら慈悲の実践として庶民へと普及し、その後の医学の展開につながった経緯を説明した。後半は趙菁が榮西著『喫茶養生記』と曲直瀬玄作著『延壽撮要』を読解し、中国中世期の養生学を紹介した。2限目は楊進による太極拳概論の解説と養生体操「八段錦」の指導があった。受講生は「歴史の紐解きが興味深かった」、「太極拳がなぜ身体によいのかの説明が参考になった」「座学と体験を合わせて学ぶことによって効果が高まった」「大変貴重な講義ありがとうございます。家に帰ってもう一回勉強したいと思います」といった感想を述べた。（趙菁）

- 金沢大学公開講座「中欧のクリスマス文化と大晦日の過ごし方」

12月8日、15日、22日全3回にわたるドイツ語圏や中欧のクリスマス文化やそれにまつわる物語、年末の過ごし方を紹介し、異文化に関する知識と理解を深める講座を開催した。8日は、主任講師として早川文任教員（外国語教育系）が講座の趣旨説明を行い、世界中にさまざまな形で伝わり、私たちの暮らす日本でも身近なものとして親しまれるクリスマスの起源と由来について推察した。続いて、同系のクラチャンスカ・ヤナ教員（外国語教育系）が、スロバキアではクリスマスのメイン料理に使う鯉を事前にバスタブで泳がす家もあることなど、私たちの知らないクリスマスの側面や魅力を紹介し、さらに多くの写真や動画を用いて過去と現在のクリスマスを比較検討した。

第2回は、佐藤文彦教員（GS教育系）は「ドイツ語圏のクリスマス文学史」というタイトルのもと、非常に充実したハンドアウトを作成し、受講者が参加し共同作業をしながら、ドイツ語圏の文学作品に触れることができた。第3回は早川が第1回、第2回の内容を補足しながら、「絵画とクリップで見るクリスマス文化」というタイトルのもと、本講座のまとめを行った。第1回には18人、第2回には15人、第3回の実施日は金沢に大雪警報が発令された日であったが8人の受講者が参加した。高校生から80代までの受講者が参加し、アンケートの結果も大変好評だった。（早川文人）

- スピーチコンテスト審査員（石川県高等学校文化連盟英語部）

第16回全国高等学校英語スピーチコンテスト石川県大会（第43回 English Festival スピーチの部）、第18回高文連英語部英語スピーチコンテスト（8月20日（日）於 文教会館）の審査員を小熊猛教員が担当した。（小熊猛）

- スピーチコンテスト審査員（金沢市中学校文化連盟英語部）

第50回英語金沢市中学校文化連盟英語部スピーチコンテスト（10月7日（土）於 金沢市教育プラザ富樫）の審査員をJacob Runner教員が担当した。（Jacob Runner）

- 第2回ミライシコウ金沢（高校生探究成果発表会・高校生国際会議）

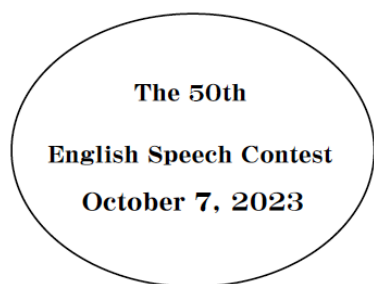
2024年3月16日金沢大学角間キャンパス自然科学大講義棟で、石川県内外からそして海外の高校生がおおよそ300人集まって、それぞれが取り組んだ研究プロジェクトの研究成果発表会、ディスカッションが行われた。マーク・ハモンド教員は審査員を務め、講評を行った。(Mark Hammond)

- 金沢大学 STELLA・グローバルサイエンスキャンパス（GSC）プログラム

9月から1月までに実施されたSTELLA・グローバルサイエンスキャンパス（GSC）プログラムの英語講師をJacob Runner教員が担当した。（Jacob Runner）

2023年度

**第50回
英語スピーチコンテスト**



金沢市中学校文化連盟英語部



■外国語教育系・部門

国際基幹教育院長 澤田茂保

外国語教育系長 大藪加奈 外国語教育部門長 小熊猛

外国語教育部門（21名） ◎長、（オ）＝オブザーバー、（サ）＝サバティカル研修期間	
外国教育部門内委員	
英語科目統括	家口美智子
英語科目開講計画策定委員	◎数見由紀子、西村周浩、橋本将、山村公恵
英語教育課程改革WG	◎小熊、橋本、西村（周）、大藪（オ）、Dale Brown（サ）
外部試験WG	◎家口、西嶋愉一、Mark Hammond
初習言語統括	趙菁
初習言語改革WG	趙、早川文人、佐藤朋子

EAP教育企画部	◎西村（周）、家口、大藪、菅野磨美、Jacob Runner、森川智成、Hammond、Sreedevi Reddy、山村（オ）、Brown（サ）			
EAP科目コースヘッド	I Hammond	II Runner	III 森川	IV 菅野
	Retakeクラス： 家口、大藪			
EAPシラバス・教育マニュアル・リーフレット	西村（周）、菅野、Runner			
EAP研修・イベント	家口			
共同研究統括	西村（周）			
非常勤人事・成績管理・成績疑義・全体連絡	西村（周）			
EAPボキャブラリー・プログラム	Hammond			
EAPクリティカル・シンキング・プログラム	大藪			

国際試験教育企画部	◎橋本、澤田、小熊、数見、西嶋、河田英介			
TOEIC準備コースヘッド	I 小熊	II 小熊	III 数見	IV 西嶋
非正規授業の管理	「サポートクラス」（数見、小熊） 「TOEIC準備演習」（橋本、小熊）			
TOEIC-IPテスト	数見、橋本、西嶋、小熊			
期末テスト	数見、西嶋			
Web Class /シラバス	西嶋			
教務データ分析・管理	橋本			
共同研究統括	橋本			

非常勤人事・成績管理・成績疑義・全体連絡	橋本
Practical English準備 (シラバス草稿・新教材準備)	河田

初習言語教育企画部	◎趙、早川、佐藤、西村英希、Jana Klacanska、平松潤奈（サ）
初習言語科目コーディネーター	中国語、朝鮮語、ロシア語（趙）、フランス語・スペイン語（佐藤）、ドイツ語（早川）、
語学研修関係	中国語（趙）、ドイツ語（早川）、フランス語（佐藤）
初習言語ガイドブック	早川
検定試験関係	ドイツ語（早川）、フランス語（佐藤）、中国語（西村（英））
共通教育初習言語カリキュラム要覧	趙、早川、佐藤

学術リテラシー教育企画部	◎大藪、山村、西村（周）、Runner、Brown（サ）
英語学術リテラシー科目コーディネーター	大藪、山村
科目開発・教材作成委員	大藪、山村、西村（周）、Runner

外国語教育部門内委員会	
予算委員会	◎家口、趙、西嶋
FD委員会	◎趙、Hammond、菅野
広報委員会	◎早川、森川、Brown（サ）
学習支援委員会	◎西嶋、佐藤、西村（希）、Klacanska
ボキャコン実行委員会	◎家口、西嶋、山村

外国語教育系内委員会	
人事委員会	◎大藪、家口、小熊、數見、橋本、趙
研究推進委員会	◎佐藤、早川、西村（周）
研究紀要委員会	◎數見、橋本、Runner、菅野
研究支援	早川、Hammond、西嶋

国際基幹教育院内委員会	
代議員会	大藪、小熊、趙
予算委員会	大藪、小熊
FD委員会	趙、Hammond
施設利用委員会	大藪、西嶋

「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員会	大藪、家口
総合教育部担任	西嶋、數見、西村（周）
総合教育部学務委員	◎大藪、西嶋（理系統括）、數見（文系統括）

基幹会議（外国語教育系・部門からの選出委員）	
国際企画会議	小熊
教育企画会議	澤田
総務企画会議	GS教育系から選出
SGU企画・推進本部会議	澤田

全学委員会等（外国語教育系・部門からの選出委員）	
基幹教育管理運営委員会	澤田、大藪
教育企画会議下専門委員会（障がい学生支援委員会）	數見
共通教育教務・学生委員会	小熊
英語・初習言語科目企画部会	◎小熊、趙、橋本、早川、西村（周）、佐藤
初習言語カリキュラム連絡会	◎大藪、小熊、趙
未来創成教育環境運営委員会	澤田、大藪
学術リテラシー教育WG	◎大藪、西村（周）、山村
授業科目英語化WG	大藪
派遣留学生等選考WG	小熊
国際基幹教育院の在り方検討WG	橋本
「SAKIGAKE」候補者選考WG	大藪
図書館委員会	大藪（副館長）
ライティングセンター運営部会	◎大藪、山村、西村（周）
AP事業継承発展委員会	澤田
全学教員評価委員会	大藪
ダイバーシティ推進委員会	大藪
角間北地区施設リニューアル検討プロジェクトチーム	西村（英）
ハラスメント相談員	家口
携帯型PC使用策定委員会	西嶋
GSCプロジェクト協力員	Runner、Hammond

■刊行物

- 『初習言語ガイドブック』2024 年度版
- 『共通教育初習言語カリキュラム要覧』2024 年度版
- 『EAP Teachers' Guide 2024』
- 『EAP コース説明リーフレット』2024 年度版
- 『言語文化論叢』第 28 号
- 『外国語教育フォーラム』第 18 号

初習言語 ガイドブック

2024 年度

未来への扉
大学で学ぶ新しい外国語



金沢大学国際基幹教育院外国語教育部門

ISSN 1884-2364

ISSN 2436-3464

外国語教育フォーラム Forum of Language Instructors

— 金沢大学外国語教育論集 —

第 18 号

Volume 18

2024 年 3 月

金沢大学国際基幹教育院外国語教育系

言語文化論叢

第 28 号

2024 年 3 月

金沢大学国際基幹教育院外国語教育系

共通教育初習言語カリキュラム要覧

金沢大学国際基幹教育院外国語教育部門

『EAPコース』での約束事

アイディアを盗用しない

本、雑誌、インターネットなどを参考にアイディアを得る。他人のアイディア、言葉、文章などを、自分のもののように使うことは、『盗用 (plagiarism)』と呼ばれる不正行為です。提出した文章や発表用のスライドなどに盗用があると、その提出物や発表の採点は低くなり、取次野郎期間で罰則があります。その採点の低減は公平性上になります。

【盗用や、盗用防止の具体的な事例】

- ・他人の文章や写真、グラフ等を、出典を示さずに使う
- ・他人の意見や価値観の一部を盗用して、自分の意見で言い換える
- ・インターネット上の画像、動画等を、許可なく転載して使う
- ・本、雑誌、論文、インターネット等にある情報や文章を、自分の文と区別せずに書く
- ・他人の文章の一部または全部を、自分の文章として提出する

原則、AIが作成した文章や機械翻訳した文章も、自分で作成した文章として提出する行為は、『不正行為』に該当し、採点の一部と見なされます。

採点の提出期限を守る

採点と提出期限の提出は、提出の7日前まで受け付けます。マイナスイメージのペナルティが課せられます(たとえば、30点満点の課題で20点の場合は、10点として記録されます)。課題の提出期限は必ず守るようにしてください。

遅延・欠席に注意する

遅延は毎週記録され、最終成績の20%を占める『授業参加 (participation)』から減点されます。20点以上の遅延は欠席とみなされます。授業への参加は、授業開始の10分前に行われます。また、授業中に遅刻した場合、遅刻時間分が『遅延』として記録されます。授業中の遅延による欠席は授業教員に、遅刻時間のある遅の遅刻を遅い欠席(欠席)はEAPのコースヘッドに連絡し、遅刻時間分を遅延として記録します。

出席記録について

各授業の出席記録(出席)は記録簿になります。遅刻がある可能性があるため、手配は入念に考えておいてください。それ以外の場合に遅刻が行われる場合は、教員の指示にしたがってください。

教員への問い合わせについて

教員にメールやメッセージを送る場合は、英語で問い合わせてください。

Dear Smith sensei,	名(姓) 敬称(敬称) 名(姓) (Professor, Dr. sensei) または、Dear Professor Smith, 名(姓) (例 Dear Smith) は失礼な敬称です。
I am writing to you because I am a first-year student from the School of General Education, and I am in your EAP (English for Academic Purposes) class.	自分の名前、所属、どの科のクラスに所属しているかを伝える。
I am unable to attend the class today as I have a fever. Could you please excuse my absence by email? Please find the file attached.	内容は簡潔に、丁寧に。
Also, could you please tell me about the homework for next week? Thank you very much.	添付ファイルがある場合はその旨を記す(添付ファイルだけ送らない)。
Best regards,	英文では結びの句(Sincerely など)を付ける。
Your Name sensei	署名、所属や学級番号など。
School of General Education	
Student ID: 123456789	

スマートフォンやタブレット端末の活用について

授業中は、スマートフォンやタブレット、その他の電子機器は必ず授業中に充電し、充電の満充電にしておいてください。充電が満充電でないと、授業中に使用の制限がかかります。授業開始前には必ず充電を確認してください。

授業中の休憩時間について

授業中の休憩時間、プレゼンテーション準備時間、引用の仕方についてはライティングセンター・ラーニングサポートの相談を利用してください。

アクティブラーニング

EAPコースは『授業』という形式に入力した知識を自分の力で使えるようになる『実践的な学習』ではなく、ともに考え、話し、書く、発表する『実践的な学習』です。自分一人一人の知識や経験に基づいて、自分の考えや意見を自由に表現することが求められます。

発行/金沢大学国際基幹教育院外国語教育部門



『EAPコース』のロードマップ



金沢大学
KANAZAWA

(2024年度版)